

～これまでのWOMANTトークについて～

- 第1回WOMANTトーク 令和6年6月25日(火)  
参加者 庁内女性職員9名  
「若者子育て世代に選ばれるまち」龍ヶ崎について  
「出会いの場として有効なのは」出会い・結婚観
- 第2回WOMANTトーク 令和6年8月23日(金)  
参加者 庁内女性職員9名  
「仕事と子育て家事との両立」ワークライフバランス  
「男性の育児休業」
- 第3回WOMANTトーク 令和6年10月8日(火)  
参加者 庁内女性職員4名、民間事業者 6名  
「若者子育て世代に選ばれるまち」理想の住みたいまち  
「出会いの場として有効なのは」出会い・結婚観
- 男性意見聴取会 令和6年11月1日(金)  
参加者 庁内男性職員7名  
「出会いの場として有効なのは」  
「若者・子育て世代に選ばれる街」  
「仕事と子育て、家事との両立」
- 第4回WOMANTトーク 令和6年12月11日(水)  
参加者 庁内女性職員4名、民間事業者 4名  
「仕事と子育て家事との両立」ワークライフバランス  
「男性の育児休業」職場の現状
- 第5回WOMANTトーク 令和7年1月24日(金)  
参加者 庁内女性職員3名、民間事業者 6名  
「提言書採択」  
「市長にWOMANTトークレポート提出」  
「市長懇談」

# WOMAN TALK REPORT



私たちの暮らす地域がこれからも安心して住み続けられる場所であるためには、女性が自分らしく輝きながら暮らせる環境を整えることがとても大切です。特に若い女性たちは、地域を元気にし、新しい未来をつくる原動力となる存在です。龍ヶ崎市では、市役所の女性職員や市内に住む女性、そして市内で働く女性たちが集まり、「出会いや結婚」「住みやすさ」「働きやすい環境」「ワークライフバランス」などについて自由に話し合う場、WOMANTトークを開催しました。そこから見えてきたたくさんの声やアイデアをもとに、女性がもっと幸せに、もっと活躍できるための提案をこのWOMANTトークレポートにまとめました。龍ヶ崎市がこれからも、女性をはじめ、若者・子育て世代にとっても住みやすい街であり続けられるよう、このレポートが少しでもお役に立てれば幸いです。

令和7年1月

## 出会い、恋愛、結婚を望めるような支援

## 仕事と子育ての両立

## 住みたいまち龍ヶ崎市



### 若者の出会いの支援

学生時代は同世代や共通の趣味・環境を持つ人々と自然に出会う機会があったが、社会人になると仕事が忙しくなり、新たな出会いが難しくなります。また、各調査において、恋愛、交際をしたことがない若者の割合が増加傾向にあります。

- ◆ 出会いのきっかけがない若者への支援

### 職場の交流促進

仕事で多忙を極める中、不安や悩みを相談できる仲間を作る機会として、自由参加の形式であれば、同年代が集えるイベントへの参加について、女性から肯定的な意見がありました。職場での交流や信頼関係から結婚へつながる可能性も期待できます。

- ◆ 仕事以外の交流を深める機会の創出
- ◆ 同年代の仲間や信頼できる同僚を見つける機会の提供



### ワークライフバランスの改善・充実

女性が仕事の継続に不安を感じるのは、ライフステージの変化に伴いワークライフバランスが崩れることやそれに伴うキャリアへの影響、周りの協力を得られない場合が大きな要因です。

- ◆ 女性が安心して仕事を続けられるような支援

### 男性の積極的な育児参加の推進

男性の育休取得の不便さによる未取得や残業の常態化により育児をしたくてもできず、育児がママのワンオペ状態になり、結果として、夫婦ともに子育てに疲れ、第2子を望んでも、中々踏み出せないケースもあります。

- ◆ 子育て世代が家庭と仕事を両立しながら安心して子育てできる支援

### きれいな街並みづくり

本市の特徴の一つとして、幅の広い道路や歩道が挙げられます。しかし、段差が多く、歩きづらさやベビーカーを押す負担を感じる場所が見受けられます。また、夏場には雑草が伸び、子どもの目線の高さまで達している状況が見られることもあります。整備された歩道は子育て中の家族に安心感を与える要素となり、きれいな街並みは住まいを選ぶ際の重要な基準となります。

- ◆ 女性が「住みたい、住み続けたい」と感じる街づくり  
街全体を清潔で魅力的に整備

### 公園の賑わい創出

本市の東側には、シンボリック的存在である「たつのこやま(龍ヶ岡公園)」があり、市内外問わず、若者・子育て世代が集う賑わいの場となっています。一方で、西側には大型遊具が設置されたきれいで子どもたちがのびのびと遊べる場所が不足しています。

- ◆ 市西側の既存公園に大型遊具やインクルーシブ遊具を設置し、誰もが集える公園の整備
- ◆ 賑わいの創出及び地域全体で子育て世代に優しいまちになるよう、市内でバランスの取れた子育て環境の整備

### 子育て支援施設の設置

本市の東側には、0～3歳が室内で遊べる「さんさん館」があります。ママたちが“とりあえずさんさん館”というように、気軽に相談できるこのような施設は、子育て世代にとって大変貴重な存在です。しかし、さんさん館までの交通手段がないといった声も聞かれ、西側にも、子どもを連れて気軽に集える施設があると、多くのママたちにとって心強い支えになり、「孤育て」の防止にもつながると期待されます。また、酷暑の中、子どもが安全に遊べる環境整備も必要だと感じます。

- ◆ 子どもが屋内外問わずのびのび遊べる子育て世代に優しい環境づくりとして、西側エリアへの施設設置